

No.36 2022・12・4

御使いは彼に言つた。「恐れることはありません、ザカリヤ。あなたの願いが聞き入れられたのです。あなたの妻エリサベツは、あなたに男の子を産みます。その名をヨハネとつけなさい。」

ルカの福音書 1章 13 節

ルカの福音書はイエス様の降誕について記しますが、そのプロローグとしてバブテスマのヨハネの誕生を記します。ヨハネは救い主の先駆けとして人々に悔い改めを語つた人物で、これは旧約の預言の通りでした。神は眞実で神の言葉は違うことがないという証でもあります。

ヨハネの親となつたのがザカリヤとエリサベツです。二人はすでに「年をとつて」(7)いました。一般的には子どもを授かる年齢ではなかつたようです。子を授かることが

神の祝福と考えられていた時代に、子どもに恵まれないことはつらかったでしょう。それでも彼らは神への誠実を捨てませんでした。(6)。

しかし実は、神様はその人の祈りを聞いておられます。その痛みと悲しみも知つておられます。決して無視をしているわけではありません。神様は私たちから「恥を取り除いて」(24 25) くださいます。

ただ、すべてが自分の願い通りになるわけではないことは心に留めたいところです。神様が選んだ時に、神様の方法で私たちを慰めてくださいます。それを受け取ることが大切です。

神様がヨハネをザカリヤとエリサベツに授けたのは、二人が痛みを知る人だったからでしょう。人の世の苦しみと神の救いの恵み深さを知つたザカリヤとエリサベツの生涯はヨハネに大きなメッセージとなつたでしょう。(泰)

*先週は荻野家コロナ騒動で礼拝はシン館からの動画配信でした。皆さまにはご心配をお掛けしました。背後でのお祈りを感謝します。

荻野家だけでなく、教会の関係者でコロナに感染する方が続いています。ほとんどの方が軽症で済んでおられて安堵します。ただ、後遺症的な症状が抜けない方もあるようです。お互いの健康が支えられるように祈りましょう。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にて協力を》

お手数ですが、礼拝出席者と人数の把握のため、事前の申込をお願い致します。教会ホームページの専用サイト、メール、電話、FAXにてお申し込みください。礼拝出席の際に、次回申込もできます。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれない、倦怠感があるなど の際は出席を控えてください。

※換気を行っています。暖房も使用していますが寒いのでコートの着用、カイロの使用など防寒にご留意ください。

